

平成20年度 地域人材活力創出研修

情報化時代の



経営幹部養成研修

環境変化に対応できる  
強い幹部養成を  
お手伝いします!

☆ 経営マネジメント手法・実践法の習得 ☆



開催日	第1回 (9/17、9/18、9/19)	第2回 (10/29、10/30)	第3回 (11/13、11/14)
テーマ	経営の意思決定と戦略的思考	実践的営業戦略と管理	IT時代の財務管理
機関名	ビジネス・マネジメント・ネットワーク	株式会社日本経営研究センター	西野税理士事務所
講師名	代表 高橋 茂人 氏	代表取締役 服部 吉伸 氏	所長 西野 光則 氏

**概要：別添資料参照**

**受講対象者：経営幹部、部門管理者、次期リーダー、など**

**定員：10社程度（1社から1～3名程度）**

**受講料：1社 5万円**

**申込方法：別添、受講申込書にご記入の上、  
FAXにてお申し込みください**

**締切：平成20年8月29日（金）**



なるほど！  
スッキリ！  
会社の仕組み

# 情報化時代の経営幹部養成研修

## 目的

経営幹部・管理者がリーダーシップを発揮し、戦略的発想に基づいた質の高い経営を行うための、先進で実践的な知識・技法を会得して、総合的マネジメント能力を開発する

## 内容

### 経営マネジメント手法・実践法の習得

1. 経営の意思決定と戦略的思考 (3日間)
2. 実践的営業戦略と管理 (2日間)
3. IT時代の財務管理 (2日間)

## カリキュラム

## 第1回 講師：高橋 茂人 (たかはし しげひと) 氏

9/17 (水) 9/18 (木) 9/19 (金) (3日間)

### 【経営の意思決定と戦略的思考】

- ・ 経営の基本と経営分析
- ・ 意思決定力の強化
- ・ 経営戦略のポイント
- ・ これからのリーダーに望む

マネジメントゲームの実践学習を通じて、経営活動全体を視野においてリーダーシップを発揮する実践感覚を養っていただきます。

リーダーとして求められる知識の上に、受講者が自ら判断し、決断する訓練を通じて、これからのキーパーソンに必須の心構えと基本的なスキルを学びます。

戦略思考を習慣化する  
計数把握と計画力を身につける  
情報加工力と状況判断力を養う  
仕事を評価する、取組みを変える  
意思決定力を鍛える  
これからの変革型リーダーに望む

### マネジメントゲームとは

参加者の1人1人が経営の意思決定者となり、企業経営に関するゲームを通じて実践的な経営、計数管理能力を身に付けることにより、経営全体の仕組みや経営の基盤的知識を体験的に習得するもの。  
経営全体の流れが見え、自己のキャリアを十分に活かせる人材を、より効果的にしかも実務に即した形で育成するプログラム。

## 第2回 講師：服部 吉伸（はっとり よしのぶ）氏

10/29（水） 10/30（木）（2日間）

### 【販売・営業管理】

- ・ 販売、営業管理の基本
- ・ 営業とマーケティング
- ・ 営業戦略の確立
- ・ ケーススタディ
- ・ 予算と戦略（予算編成）
- ・ IT活用による営業マネジメントの改革
- ・ 自社分析

1日目（10/29）	2日目（10/30）
売上を上げるためのしくみづくり（90分）	売上予算の編成法（続き）（90分）
営業の基本とマネジメント（90分）	営業会議の開催と指導・援助・アドバイス法（90分）
得意先管理の方法（システム）（90分）	先行管理による売上アップ対策（システム）（90分）
売上予算の編成法（システム）（90分）	発表とアドバイス（90分）

システムを準備しており、それを教材として用います。

このことによって、帰社後、そのまま使用でき、研修の品質保証ができます。

## 第3回 講師：西野 光則（にしのみつのり）氏

11/13（木） 11/14（金）（2日間）

### 【財務管理】

- ・ 財務管理の基本と仕組みの理解
- ・ 財務諸表の読み方
- ・ 財務分析（比率分析、損益分岐点分析）
- ・ ケーススタディ
- ・ 財務戦略の立案とキャッシュフロー経営への転換
- ・ 企業評価のポイントと対策
- ・ IT活用による自社データ分析

決算書を読むことができ、自社の弱点を把握することで経営改善の方向がわかる。  
そして中長期の経営高度化の方向性を明確にできる研修を実施します。

#### 1. 決算書の基礎

まず決算書の基礎を学びます。貸借対照表、損益計算書といった財務諸表から講義をすると、財務アレルギーになります。儲かること お金があることといった初心者レベルから解説し、  
儲かること＝損益計算書 お金があること＝貸借対照表 といった財務諸表への読み替えをおこなうことで、難しい財務諸表を理解するのが最初の課題です。

この際、儲かってもお金がない理由が、キャッシュ・フロー計算書に表現されてくるということを指摘しながら、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の関係を理解し、キャッシュ・フロー経営のために何が必要かといったレベルまでが最初の課題です。

## 2. 自社の経営体質を把握する

一般的な決算書を見ても、フーンそうか といったことで、何となく本当に理解せずに納得してしまいます。しかし、自社の決算書が100点満点で評価され、超優秀企業から、優秀企業、普通企業、危険企業、倒産企業までの範囲でランクづけされると、ギョッとするものです。

決算書を入力することで、100点満点で評価され5段階のランクに区分されます。この内容を分析・把握することで自社の弱点がなんであるか理解できるようになってきます。

一般的には、財務分析・経営分析とよばれている分析手法を自社の決算書で実施し、弱点と改善ポイントを抽出するのが2番目の課題です。

## 3. 中期経営計画を策定する

一般的な財務の理解と自社の強み・弱みがわかったあとで、計画を立案します。

変動損益計算書（損益分岐点）と、売上債権の回転率等を組み合わせた5期間の中期経営計画がシステムとして用意されているので、ITを活用して、利益を出すためには 売上が、利益率の改善化（=変動費の削減）か、固定費の圧縮のいずれが良いかといった損益面の改善シミュレーションを行います。

損益だけでなく、回転率を使って貸借対照表を瞬時に作成することができます。また、設備投資、長短期借入金の返済や金利計算も連動しているため貸借対照表の作成を通じて、キャッシュ・フロー計算書を5ヶ年作成します。

このプロセスを理解することで、将来どのような経営意思決定を行っていくかを体得してもらおうのが3番目の課題です。

使用する中期シミュレーションのソフトは、平成18年から今年も実施している中小企業基盤整備機構の専門家向け研修（税理士、会計士、診断士）で使用しているしっかりしたシステムです。  
演習後システムは回収せず、受講生にお渡しします。

## 4. 経営管理会計で業務を高度化する

4番目の課題が経営管理会計です。計画を立案してもなかなか日々管理をして経営活動の進捗管理を行うことは難しいようです。この問題に対処するために、ITを使って業務を高度化・迅速化します。

たとえば、データベース型資金繰り表、売上予算の作成、予算と実績の検討、重点得意先の管理、製造業での生産性の把握といった日常業務を高度化する手法を学ぶと同時に、これらの業務を実施するソフトの使い方を指導します。

中期計画と同様この講義で使用したソフトはそのまま受講生に配布します。



**テーマ毎に受講者を変えてもOK!**  
**希望のテーマだけの受講もOK!**  
**トータルで受講されるのがBEST!!**

# スケジュール

	月日	時間	テーマ	講師	会場
第1回	9/17(水)	9:00~16:00	「経営の意思決定と戦略的思考」	(たかはし しげひと) 高橋 茂人 氏	サンクレア大館
	9/18(木)				大館地域職業訓練センター
	9/19(金)				大館地域職業訓練センター
第2回	10/29(水)	9:00~16:00	「販売・営業管理」	(はっとり よしのぶ) 服部 吉伸 氏	大館地域職業訓練センター
	10/30(木)				大館地域職業訓練センター
第3回	11/13(木)	9:00~16:00	「財務管理」	(にしの みつのり) 西野 光則 氏	大館地域職業訓練センター
	11/14(金)				大館地域職業訓練センター

## 講師プロフィール

### 高橋 茂人(たかはし しげひと)氏

ビジネス・マネジメント・ネットワーク 代表コンサルタント

1968年、立教大学社会学部産業関係学科卒業。電気メーカー等で人事教育を担当。ソニーCDI社、(財)日本総合研究所を経て、1983年、コンサルタントとして独立。「マネジメントゲーム」教育・普及活動の第一人者として、官民の指導、講演活動に活躍。マネジメントゲームによる計数管理能力だけでなく、戦略感覚や変革への取組みを体で覚えらるる指導には定評がある。

全国の中小企業大学校での経営後継者・経営管理者講座で25年間講師を務める。

### 服部 吉伸(はっとり よしのぶ)氏

株式会社日本経営研究センター 代表取締役

1946年、京都府生まれ。立命館大学経営学部卒業。繊維専門商社に11年間勤務した後、大手経営コンサルタント会社(約1年在籍)を経て、経営コンサルタントとして独立。中小企業大学校東京校・三条校講師、立命館大学経営学部教授、経済産業省モノづくりクラスター協議会・マッチング部会長、日刊工業新聞社・学生ベンチャーグランプリ選考委員、滋賀県中央会・応援コーディネーターなどを歴任。

経営戦略、営業・マーケティングを中心に経営全般にわたる豊富な知識とコンサルテーション経験を有する。

『経営戦略がわかる事典』『売上グングン伸ばすチェックリスト』『マーチャングダイジグがわかる事典』

『MBAのビジネスプラン』など、25冊あまりの著書がある。

### 西野 光則(にしの みつのり)氏

西野税理士事務所 所長(中小企業基盤整備機構 専任教授)

株式会社創造経営センターに入社後、主に製造業、建設業、流通業など中堅企業の経営診断、経営計画、業務管理システム構築などのコンサルティングに活躍。

税理士事務所開設をするとともに、豊富な実務経験を基に、起業家に対するコンサルティング、事業戦略の策定など、講演活動でも活躍。